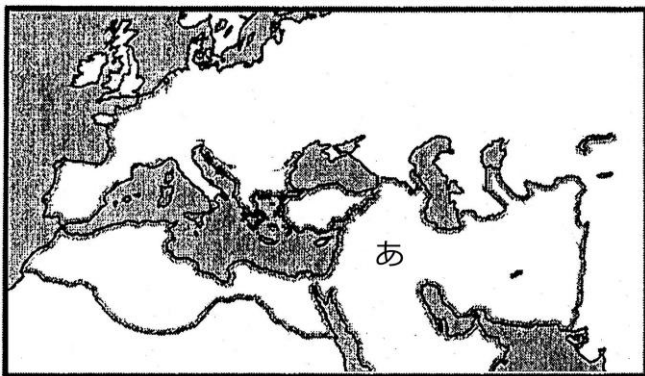


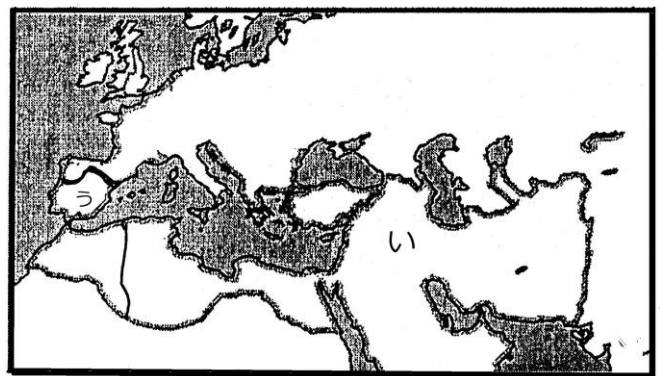
【地図を使った問題】（難易度：標準）イスラーム王朝に関する各文と地図（Ⅰ、Ⅱ）を参照して、後の問に答えなさい。

- A この王朝は①シーア派のイスラーム王朝であり、成立当初よりスンナ派の王朝に対抗して、カリフを称した。チュニジアを本拠地としたが、エジプトに進出して i 新都 を建設した。一時エルサレムを占領したが、第1回十字軍に敗れその地を失った。
- B この王朝は中央アジアで唐と接し、ii タラス河畔の戦い でその軍隊を破った。都バグダードは、ティグリス川の中流に二代目カリフにより建設され、イスラーム世界の中心として繁栄した。『アラビアン・ナイト』に登場する②第5代カリフの時代が全盛期であり、彼はフランク王国のカルル大帝と使節を交換した。
- C この王朝は中央アジアから興ったトルコ系のイスラーム王朝である。バグダード入城後、カリフからスルタンの称号を与えられた。iii マンジケルトの戦いでビザンツ帝国に勝利し、小アジアに進出した。3代スルタンの時が全盛期であり、『統治の書』を著した③イラン人宰相のもと文芸が奨励された。
- D この王朝はイラン系の軍事政権である。iv バグダードに入城後カリフから大アミールの称号を受け、イラクにおける実権を握った。④土地の徴税権を与えられた軍人が、俸給分を農民や都市民から直接徴税する制度を実施した。
- E この王朝の⑤初代カリフは、第4代正統カリフと戦い、新王朝を建国した。都は v ダマスクスにおかれ、代々のカリフの地位は、世襲となった。イベリア半島から中央アジアに至る広大な領域を支配し、フランク王国・ビザンツ帝国と対立した。

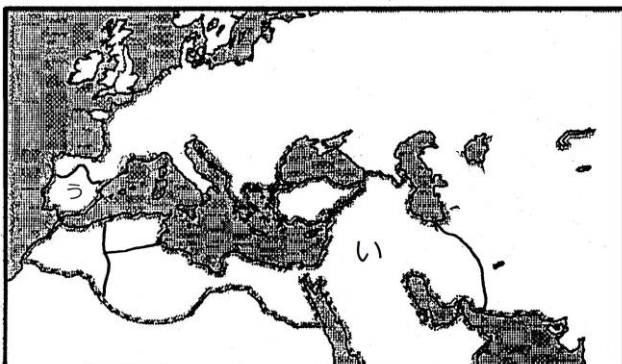
地図Ⅰ



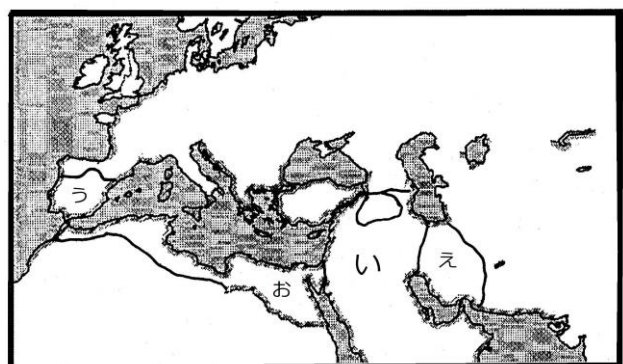
8世紀前半



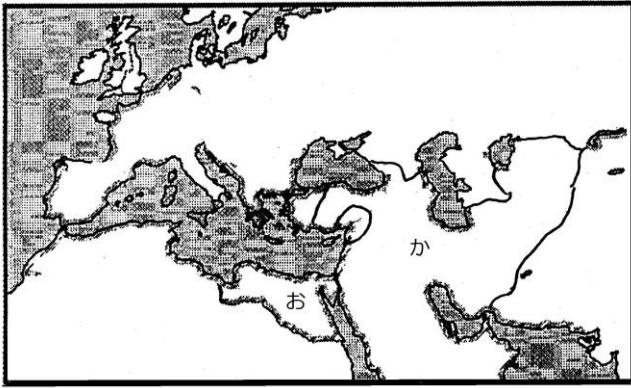
8世紀後半



9世紀

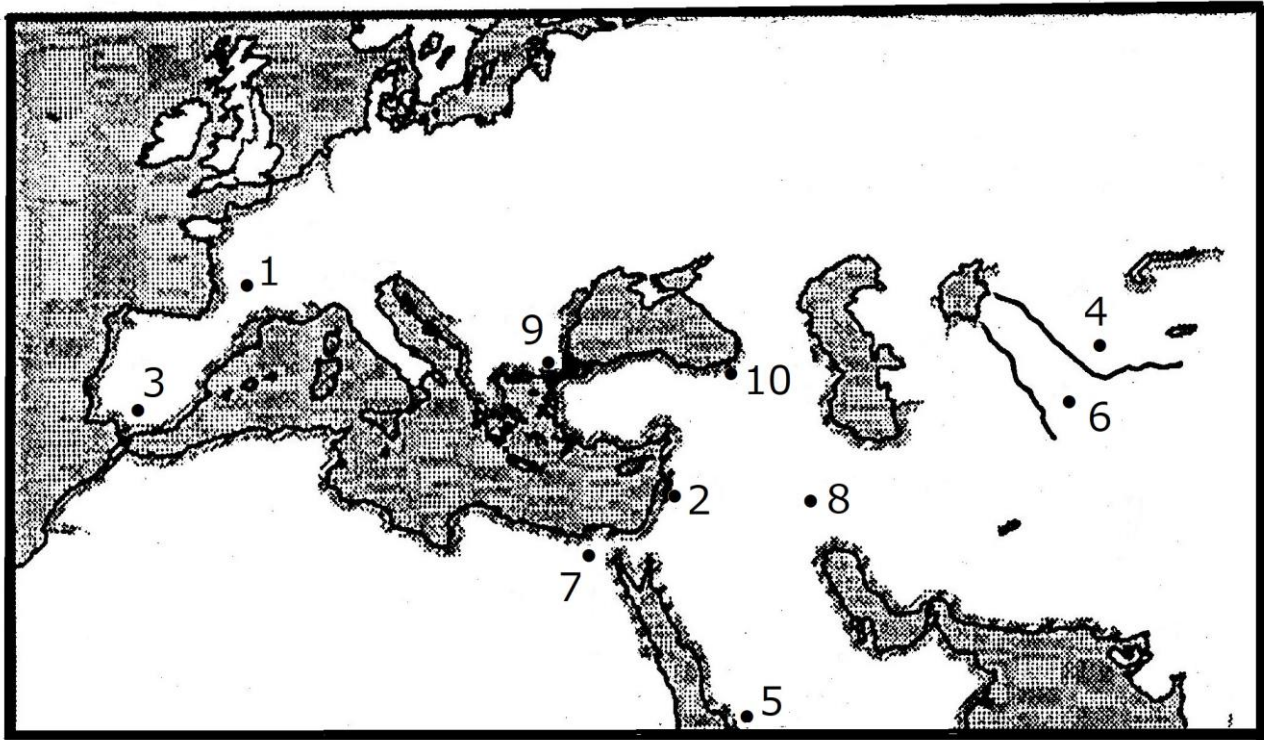


10世紀



11 世紀

地図Ⅱ



問1 A～Eに該当する王朝名を答えなさい。

問2 A～Eに該当する王朝の領域を地図Ⅰの（あ～か）より選びなさい

問3 A～Eの下線部 i ～ v に該当する場所を地図Ⅱの（1～10）より選びなさい。

問4 A～Eの下線部①～⑤について答えなさい。

① シーア派に関する文章（a、b）の組み合わせとして正しいものを選び、符号で答えなさい。

a アリーとその子孫のみをムハンマドの正統な後継者として認めている。

b 十二イマーム派はシーア派の宗派の一つである。

ア aが正、bが正

イ aが正、bが誤

ウ aが誤、bが正

エ aが誤、bが誤

② 第5代カリフ名を選び、符号で答えなさい。

ア ハールーン=アッラシード

イ トゥグリル=ベク

ウ ガザン=ハン

エ サラディン

③ イラン人宰相名を選び、符号で答えなさい。

ア ニザーム=アルムルク イ ウマル=ハイヤーム ウ イブン=ハルドゥーン
エ イブン=バットウータ

④ この制度を選び、符号で答えなさい。

ア デウシルメ制 イ テマ制 ウ プロノイア制 エ イクター制

⑤ 初代カリフ名を選び、符号で答えなさい。

ア アリー イ ムアーウィア ウ マンスール エ アブド=アッラフマーン 3世

問1 A フェーティマ朝 B アッバース朝 C セルジューク=トルコ
D ブワイフ朝 E ウマイヤ朝

問2 A お B い C か D え E あ

問3 i 7 ii 4 iii 10 iv 8 v 2

問4 ① a ② ア ③ ア ④ エ ⑤ イ